

令和6年度

学生によるオレンジリボン運動

鳥取短期大学 実施報告書



実施主体 鳥取短期大学幼児教育保育学科菅田理一研究室

実施内容 令和6年11月5日、9日、26日、スーパーや駅前での
街頭啓発運動、ポスターの掲示

①事前に取り組んだ内容

児童虐待の現状や早期発見の方法、関連機関などを授業で学習していた。

児童相談所や児童養護施設や乳児院を訪問し、施設養護の課題や現状についてインタビューするなどして知識を深めた。

オレンジリボン運動についての経緯や活動を調べた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

スーパーの街頭にて児童相談所や市町村等が実施した児童虐待防止に関する啓発行事と協働し、市民に対して、独自に作成したチラシの配布、オレンジリボングッズの頒布を行った。また、大学の最寄り駅や高校に出向き、同様に児童虐待防止の啓発活動を実施した。

大学内では、公式ポスターやオレンジの千羽鶴の掲示、イベントでオレンジリボンにまつわるクイズの出題やオレンジリボンの制作を行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

啓発活動において、市民の方に児童虐待について知ってもらえるきっかけ作りや何を伝えるべきなのかなど考える機会になった。

学校の学びで終わるのではなく、学外に出て、当事者意識を持ち、オレンジリボン運動ができたことが良かったと思う。

活動を通して、オレンジリボン運動の大切さを実感したため、今後も沢山の方に知ってもらい、児童虐待防止に努めていくため後輩にも伝えていく予定である。



【鳥取短期大学】 <https://www.cygnus.ac.jp/>